

2022年の目標と実績

従来より社会的価値と経済的価値の両面を重視しながら企業活動を進めてきましたが、2021年に発表したサステナビリティ長期方針「はるかに未来を創る2050」で事業を通じて環境問題や社会問題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みをさらに強化することを宣言しています。

また、私たちはサステナビリティ長期方針「はるかに未来を創る2050」を達成することは「Our Philosophy」のPurpose「未来をひらくイノベーションで最高の安心とヨロコビをつくる。」を具現化することにつながると考えています。サステナビリティ長期方針を通じて、私たちがどのように社会課題に貢献できたかをご報告いたします。

サステナビリティ長期方針の目標		PLAN 2022年目標	DO 2022年活動実績	CHECK 自己評価	ACTION 2023年目標	関連するSDGsと取り組みによるポジティブインパクト		
製品イノベーション	●スマートタイヤコンセプトの具現化	●コンセプトタイヤ提案(2029)、新商品への100%搭載(2030)	アクティブトレッドに関する開発推進	アクティブトレッドに関する技術開発 中期計画で2024年のアクティブトレッド技術搭載の次世代タイヤ発売を発表	100%	アクティブトレッド技術を搭載した次世代タイヤの2024年商品化に向けた開発実施	3-6 タイヤの高機能化による交通事故低減 9-5 次世代技術を搭載した製品の開発 IT技術を活用したソリューションの提供	11-2 安全な移動手段への貢献
	●サステナブル商品認定制度の制定	●自社基準の目標策定(2022)	サステナブル商品認定制度に関する基準の制定	サステナブル商品認定制度に関する社内基準と2030年に向けた目標を制定	100%	サステナブル商品認定制度を適用した商品企画の開始と、社内体制づくり	7-2 製品製造における再生可能エネルギー使用 9-4 製造段階における省資源 9-5 次世代技術を搭載した環境配慮製品の開発	11-2 安全な移動手段への貢献 12-5 リサイクル原材料活用 13-2 燃費向上やリサイクル原材料でCO ₂ 排出削減
カーボンニュートラル	●カーボンニュートラル(スコープ1,2)	●2017年比50%削減(2030)、カーボンニュートラル達成(2050)	2017年比6%のCO ₂ 排出量削減	2017年比15%の削減	100%以上	2022年比6%の削減	7-2 製品製造における再生可能エネルギー使用 7-3 省エネ活動の推進 9-5 次世代エネルギー水素の技術開発 11-3 持続可能なエネルギー水素の実用化に挑戦	12-6 サステナビリティに関する情報開示 13-2 CO ₂ 排出ゼロの製品製造の実現 17-6,17 水素活用における産官学の連携
	●カーボンニュートラル(スコープ3)	●スコープ3の削減目標設定(2022)	スコープ3削減目標の制定	スコープ3削減目標制定に向けた排出量把握	75%	2023年中の目標制定	9-5 次世代技術を搭載した環境配慮製品の開発 12-4 サステナブル原材料による廃棄時のCO ₂ 削減	12-5 リトレッドタイヤによるリユースの推進 13-2 製品ライフサイクルでのCO ₂ 排出削減
	●水素の活用	●水素ボイラーの製造ラインでの安定運用(2023)	白河工場(福島県)での水素ボイラー導入	白河工場(福島県)での水素ボイラー導入工事完了	100%	製造時CO ₂ 排出ゼロタイヤの量産開始 水素ボイラー24時間運転における課題の確認	7-2 製品製造における太陽光発電の利用 9-5 次世代エネルギー水素の技術開発 11-3 持続可能なエネルギー水素の実用化に挑戦	12-6 サステナビリティに関する情報開示 13-2 CO ₂ 排出ゼロの製品製造の実現 17-6,17 水素活用における産官学の連携
資源循環持続可能な原材料	●サステナブル原材料比率の拡大	●サステナブル原材料比率を各商材で下記比率を目指す ・タイヤ:40%(2030)、100%(2050) ・スポーツ:販売する全練習用ゴルフボールの20%(2030)、販売する全ゴルフボールの100%(2050)、100%使用のテニスボールを発売(2030)、販売する全テニスボールの100%(2050) ・産業品:製品の総重量比40%(2030)、100%(2050)	リサイクル率向上に向けた検討 代替原材料の検討 設備検討	リサイクル率向上に向けた検討実施 代替原材料の検討実施 設備検討実施	100%	リサイクル率向上に向けた検討継続 代替原材料の検討継続 設備検討と新規原材料導入に向けた対応計画	9-5 環境負荷の低い高機能原材料の開発 12-4 サステナブル原材料による廃棄時のCO ₂ 削減 13-2 製品ライフサイクルでのCO ₂ 排出削減	
	●プラスチック削減	●タイヤラベル、商品包装材、販促ツール等のプラスチック使用量2019年比40%削減(2030)	2021年比4.5%のプラスチック使用量削減	テニスボールのプラスチック製ふた廃止 タイヤ、スポーツ、産業品での販促材のプラスチック使用削減の取り組み実施	85%	梱包材等のプラスチック削減継続	8-4 企業活動の環境への影響を小さくする努力 11-6 資源の使用を効率化する 11-6 廃棄物の削減	12-4,5 廃棄物の環境に与える影響の低減 13-2 廃棄物減によるCO ₂ 排出削減 14-1,2 海洋プラスチック問題への貢献
	●水使用量の削減	●水リスクの高い拠点を対象に水リサイクル100%(2050)	トルコ工場での水リサイクル100%継続	トルコ工場の水リサイクル100%を継続 水リスク評価方法に関する社内検討	100%	水リスクの高い拠点の選定、取り組み計画の策定	6-1,4 水リスク低減への貢献 8-4 効率よく水資源を利用できる技術の開発	9-4 水資源のサステナブル化への貢献 12-2 水資源の効率的利用への貢献
サプライチェーンマネジメント(環境)	●持続可能な天然ゴム(SNR)方針	●SNR方針を満たす原材料の調達 ・主要な取引先を対象(2030)、すべての取引先へ拡大(2050)	[持続維持可能な天然ゴムのためのプラットフォーム](GPSNR)へ参画し、業界動向に追随可能な仕組み、体制を構築する	GPSNR定例会議、ワーキンググループへの参加、貢献 GPSNRの報告要件に基づくレポートの提出 GPSNR能力開発(キャパシティビルディング)プロジェクトへの提出	100%	引き続きGPSNRへ参画し、他社・業界動向に追随できる体制を継続する GPSNRのKPI目標を達成し、EU森林破壊規制法(EUDR)に準拠するための活動項目の設定、実行	8-7 児童労働、強制労働の撲滅 15-1 森林破壊をしない天然ゴムの調達	15-5 天然ゴム調達における生物多様性の尊重 16-3,6 原材料調達における人権尊重、コンプライアンス順守
健康と安全	●労働安全衛生の徹底	●重篤災害ゼロ	安全先行指標(KPI)を重点活動として設定し、事業所間のバラツキや、部門/職場の差をなくすための活動を継続して推進	事業所間のバラツキをなくす活動は予定通り完了 海外グループ企業、協力企業で死亡災害計2件	100%(KPI)	全社に浸透しているBTC活動として安全活動を実施 安全先行指標(KPI)活動継続	3-9 有害物質による健康異常を防ぐ 8-8 全社員が安全に安心して働ける環境づくり	
	●健康経営の推進	●産業保健体制の強化、健康文化の醸成	生活習慣改善に重点を置き、喫煙、食事、睡眠、飲酒に對しての施策に注力 特に喫煙に関して、「禁煙推進委員会」を立ち上げ、受動喫煙防止、喫煙率削減を推進	本社で構内完全禁煙を開始するなど、計画通り取り組みを完了	100%	専門職の能力の向上による産業保健体制の強化 健康文化の醸成(2022年改訂の「健康経営宣言」の認知度向上)	3-4 健康経営実践による社員の活力向上 受動喫煙の害の減少	8-3 社員の働きがいの向上 8-5,8 企業風土の向上による活力の向上
組織風土・文化醸成	●リーダーシップ開発	●360度フィードバックのグローバル導入(2030)、エグゼクティブコーチング継続実施(2030)、組織体質調査のポジティブ回答率80%(2030)	360度フィードバックを2021年に拡大した海外拠点および国内グループ会社の対象範囲をさらに拡大して実施	360度フィードバックは、海外拠点や国内関係会社社員へも対象を拡大 海外: SURINDO、SRT、SRZ/SRC/SRB、SRUSA、SRB、SAT 国内: SBA、ウィズ、DT 販社、DSM 組織体質調査 ポジティブ回答率(2022): 77.5%	100%	360度フィードバックは、海外工場は現地人幹部への拡大、国内関係会社はプロパー社員への拡大をさらに進める マネジメント層のリーダーシップ力、マネジメント力の強化 組織体質調査 ポジティブ回答率の向上: 78.5%	8-3 社員の成長と働きがいの向上 8-5,8 企業風土の向上による活力の向上	16-7 360度フィードバックによる対話の文化
多様性の尊重と調和	●ダイバーシティ&インクルージョンの推進	●アンコンシャスバイアス理解浸透施策の継続・拡大 ●アンコンシャスバイアス研修の全階層への展開(2030)	アンコンシャスバイアス理解浸透施策の継続・拡大 LGBTQ+理解浸透施策拡大 技能系女性の就労環境改善	一般従業員へのアンコンシャスバイアス研修の実施 企業行動基準へのアンコンシャスバイアスに関する対応の明記 LGBTQ+理解浸透施策拡大: ハンドブック作成、eラーニング展開、規定適用範囲の拡大、アライステッカー作成、PRIDE指標ゴール取得、理解浸透研修継続実施	100%	アンコンシャスバイアス教育の工場への展開開始 LGBTQ+理解浸透、アライステッカー配付拡大 女性も働きやすい現場づくり施策拡大	5-1 女性活躍による組織活力の向上 5-4 男性育休推進等による子育て支援	10-3 LGBTQ+などへの差別根絶による機会拡大
	●女性活躍の推進	●女性向けキャリア開発制度の継続、女性管理職比率7%(2025)、12%(2030)	メンター制度拡大 技能系女性の就労環境改善	メンター制度の対象者拡大 厚生施設改善計画、予算計上、技能員向け両立支援ガイド発行	100%	メンター制度の既存研修制度への落とし込み 女性トップマネジメント育成施策の構築 女性も働きやすい現場づくり施策拡大	5-1,5 女性活躍による組織活力の向上 5-4 男性育休推進等による子育て支援	8-3 社員の成長と働きがいの向上 8-5,8 企業風土の向上による活力の向上
	●人権マネジメント体制の構築	●グローバル人権方針の策定(2023)、人権マネジメント体制および人権デューデリジェンスプロセス構築(2024)、人権デューデリジェンスの確立・運用(2025)	人権マネジメント体制構築に向けた計画策定	人権マネジメント体制構築に向けた計画策定	100%	グローバル人権方針の策定・発行	8-7 児童労働、強制労働の撲滅	16-3,6 原材料調達における人権尊重、コンプライアンス順守
サプライチェーンマネジメント	●第三者評価機関(EcoVadis)の活用	●タイヤ原材料について購入金額ベースで95%を基準点45点以上のサプライヤーから調達(2030)(タイヤ以外の事業部へも順次展開予定)*	—	購入金額ベースで82%を基準点45点以上のお取引先様から調達	100%	—	8-7 児童労働、強制労働の撲滅 15-1 森林破壊をしない天然ゴムの調達	15-5 天然ゴム調達における生物多様性の尊重 16-3,6 原材料調達における人権尊重、コンプライアンス順守
コーポレート・ガバナンスの充実	●取締役会の多様性向上	●取締役会の実効性向上、外部環境変化や当社経営状況を踏まえた取締役体制を構築	中期計画に基づきスキルマトリックスを策定するとともに、取締役・監査役候補者選定にあたって多様性の観点から検討を進める	スキルマトリックスによりバランスの良い役員構成を検討し、また、「取締役・監査役の選任方針・選解任基準」において多様性の要素を組み込み、取締役会の多様性向上に努めた	100%	取締役・監査役候補者選定にあたっての多様性の観点からの検討を継続し、企業価値向上に向けた役員体制を構築する	5-5 取締役会の多様性による意思決定の質の向上 10-3 ジェンダー、国籍を含む取締役会の多様性を高める議論の質を高める	16-6,7 多様な意見を取り込み意思決定につなげる
	●ガバナンスの実効性向上	●第三者機関の関与を得た評価実施、結果分析、実効性向上施策実施	取締役会の実効性に関するアンケート実施による、実効性向上に向けた各種施策の実施と効果の確認	決裁基準の見直し等の施策を実施するとともに、取締役会の実効性に関するアンケートを実施し、2021年に実施した第三者機関による評価において課題となっていた点について改善できていることを確認した	100%	引き続き取締役会の実効性に関するアンケートを継続し、実効性向上に向けた課題解決を進め、当社取締役会のガバナンスレベルの向上を図る	5-5 取締役会の多様性による意思決定の質の向上 10-3 ジェンダー、国籍を含む取締役会の多様性を高める議論の質を高める	16-6,7 多様な意見を取り込み意思決定につなげる
コンプライアンスの徹底	●税の透明性	●税務方針の策定 ●グローバル税務戦略の実行(2025)	税情報開示内容の検討 グローバル税務戦略の実行	各国納税状況の把握 税務戦略の例としての海外会社利益率の検討	100%	引き続き各国税情報の収集 グローバル税務戦略の検討(海外会社利益率検討、タックスプランニングなど)	10-5,6 税の透明性を高めることで金融システムの健全化に貢献する	16-6 公正な納税で社会に貢献する 17-1 事業を行う国の法に合った適切な納税
	●Our Philosophyの浸透	●Our Philosophy浸透度調査の「共感」以上の回答率80%(2030)	Phase 2「理解」 ⇒ Phase 3「共感」 Our Philosophyの自分事化	1Qブースト「Our Philosophy浸透セミナー」実施 ワークショップ形式で全20回、約3,000人の社員が参加 自分の仕事、業務の視点からOur Philosophyを考える内容で実施 Our Philosophy浸透度 70%	100%	Phase 3「共感」 ⇒ Phase 4「実践」Our Philosophy体現に向けた、さまざまな取り組み 工場技能系への浸透活動	8-5 社員の働きがいを高め、能力を最大限に活かす 8-8 社員が安全に安心して働ける環境づくり	10-2 社員が多様な力をつつと、ともに成長する 16-5 社員の意識を高めコンプライアンスを徹底する

* タイヤ原材料については、購入金額ベースで90%を超えるお取引先様に受審頂き、基準点(合格)を超えるお取引先様が80%を超過していることから、目標を受審率95%以上(2030)→合格率95%以上(2030)に変更